

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会

第5回 策定協議会議事録<要旨>

日時 : 平成19年6月5日(火) 13:30~15:30

開催場所: 知立市中央公民館 2階 第1・2展示室

出席者 : 委員9名(欠席者4名)、オブザーバー4名、事務局7名

<議事次第>

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告事項
 - 1) 第4回策定協議会議事録の確認
4. 協議事項
 - 1) 協議会オブザーバーについて
 - 2) UD整備事例の報告(1)
 - 3) プロセスI「UDの考え方を学ぶ」具体的事案の検討
 - 4) プロセスII「現況を把握する」具体的事案の検討
5. その他
6. 閉会

<報告事項概要>

◆1)第4回策定協議会議事録の確認

事務局: 第4回協議会の議事録が配布してある。今回は導入プロセスIからIVを承認を頂いた。内容の訂正があり、1ページ末の「具体案II、III」は「具体案I、II」が正しい。

<協議事項概要>

◆1)協議会オブザーバーについて

事務局: 金城学院大学教授、櫻井のり子先生。中部運輸局課長、松永宰治様の代理で愛知運輸支局運輸専門企画官、猪飼聡様。知立建設事務所課長、花井雅明様の代理で課長補佐、近田美則様。知立市都市整備部課長、神谷幹樹の代理で課長補佐、加藤達。以上4名の方に参加して頂きたい。
野崎会長: 皆さんが主体で進めていくが違った視点と言うことでオブザーバーの参加に賛同して頂きたい。

◆2)UD整備事例の報告(1)

事務局: 今回からユニバーサルデザインの整備事例を委託業者から毎回報告させる。今回はユニバーサルデザインの導入と当事者参加がテーマ。次回以降は皆様に意見を頂けたらと考えている。

事務局: セントレアと愛知万博についての報告。セントレアでは設計段階から障害者を中心に検証会議等を行った。セントレア以前は出来上がる直前に障害者に確認させ、できる範囲で直して終わりだった。万博でも同様に設計段階から加わったが、こちらは終了後に取り壊すためユニバーサルデザインではなくバリアフリーとして委員会等を組織した。ソフト面ということでバリアフリー基本構想や各種ガイドラインを作成した。万博に関しては空港と違い、開催中もクレーム対応を行った。途中でルールを変える場合にも障害者団体の方に参加して頂き、確認して頂いた。2回目以降は具体的な建物や地域の要望があればそちらを調べていく。

野崎会長: この設計段階から障害者が参画することを知立市でも行いたいと考えている。

兼子委員: セントレアは広くて安心できた。万博は人が多いため遠慮すると見られず、無理をすると健常者の足をタイヤで踏んでしまう状況だった。セントレアは目線の高さも良かった。

◆3)プロセスI「UDの考え方を学ぶ」具体的事案の検討

事務局: プロセスIは協議委員主体で実行委員会をつくり、企画運営を行って頂く考え。Bの連続講座

は野崎会長から企画提案して頂くことになっている。AとCの説明をA J Uより行う。

事務局：検討なので単体を成功させるのではなく、色々行い何をどの対象に行うと伝わりやすいかをまとめていきたい。初回は勉強会を中部大学の磯部先生に交通に関してお願いしている。対象はみなさんと市の職員を中心に考えている。7/6（金）と7/8（日）が候補日、図書館が会場候補。講演後にタウンウォッチングを予定、図書館から駅前広場くらいまでを想定している。講演を13時から1時間半くらい行ったのち、17時頃までタウンウォッチングを行うことを考えている。Cの配慮すべき事項の体験を交通バリアフリー教室で行うことを初回として事務局で考えている。次回からはみなさんにこういったものはどうかという御意見を頂いて何度か行いたい。

野崎会長：誰でもどこでもいけるのがノーマライゼーション、交通に限らず移動の問題は大事。連続講座については各テーマごとにみなさんの意見が反映できるようシステム化して行う。

櫻井先生：バリアフリーは障害者のみが対象だがUDは違うので各年代、性別などの特性におけるユニバーサルデザインを新たに調べていくということではどうか。

保田委員：万博の資料にある外側の大きい手すりの中に小さい手すりがあるのはどういうものか。

事務局：浜松の駅前で同様の手すりだった。身長に関わらず使えるユニバーサルデザインと説明された。

野崎会長：手すりについて私は、家具やボックスに手すりをつける手もあるのではないかと考えている。

◆4) プロセスⅡ「現況を把握する」具体的事案の検討

事務局：プロセスⅡのねらいとしては現況把握の手法の理解。運営方法は委員の方に企画検討して頂く。

基本的には事務局案を作成し、実行委員に修正してもらい形で実行委員の負担を減らす考え。

事務局：現地調査を行って問題を共有してからアンケートを行う。現地調査は勉強会をしてからタウンウォッチングをする形にしたいと考えている。候補日があるので今選んで頂きたい。

野崎会長：挙手で決める。では、7/6（金）で決定。プロセスⅡの方はよろしいか。

高橋委員：私はハードを整えたからいいでしょうという方向になるのが怖い。

野崎会長：ユニバーサルデザインは長いスパンで高齢者や、障害者だけでなく子供の意見も聞きたい。神戸市では小学校の建て替え時に子供達に意見を聞いている、子供の考えを育てるのも大事。

櫻井先生：学生が休みになる8/6以降に行う様にしたい。

野崎会長：パフォーマンスになってしまうといけませんが子供向けにも何かやっていきたい。

事務局：プロセスⅠの交通バリアフリー教室に協力して欲しい方がいるので終了後にお問い合わせ頂く。

事務局：今後のスケジュールは、7/6（金）13時に開始、場所は図書館の視聴覚室に現地集合、講演を1時間半、その後図書館から駅前を17時頃までタウンウォッチング。7月の末くらいに第6回協議会を開きたいと思う。7/6にお伝えする。改めてご案内の連絡を行う。デジタルカメラと巻き尺を用意して欲しい。メモ用紙はご用意しておく。

五味委員：みなさんには車いすに乗った気持ちになって頂けると参考になるのでは。

高橋委員：私は知立市の教育委員なので何かあれば教育委員会の方にもお願いして欲しい。

<その他>

事務局：国土交通省中部運輸局の猪飼様から資料を3点程頂いているのでそちらをご案内して頂く。

猪飼様：基本構想の作成とバリアフリー教室を知立市にお願いしたい。バリアフリー新法は、ハートビル法と交通バリアフリー法を拡充し、平成18年12月20日に施行された。

高橋委員：ハートビル法の適合基準マークはまだ継続しているのかどうか。

猪飼様：そのまま継続しているだろう。この協議会において基本構想の作成はして頂けるかどうか。

事務局：今すぐには御返事はできないが委員の皆様にご協力頂いて前向きに検討する。

<閉会>

野崎会長：他に御意見が無ければ第5回知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会を終了する。